

メディアデザイン論

選 択

開講年次：2年次後期

科目区分：講 義

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：マスメディアからソーシャルメディアまで、多様なメディア形式の中で流通するコンテンツをプロデュースし、具体的なメディア選択から流通形態に及ぶメディアデザイン領域の多様な可能性を概観する。クリエイティブな発想、構想力によるメディアの創造とその展開過程、放送、映画、音楽、出版、インターネットなどの主要メディアにおける「文化の産業化」過程を参照しながら、視覚デザイン、現代美術、企画、インターネット、研究の方法論と展開について学ぶ。

■**到達目標**：①メディアデザインの基本手法、デザイン戦略などを理解する。
②メディアデザインの多様な背景を理解する。
③メディアデザインの方法論や研究への総合的理解を深める。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

吉田 和夫、上遠野 敏、武田 亘明、石田 勝也、◎須之内 元洋

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 視覚デザインの方法と展開/オリエンテーション (吉田)
- 第 2 回 視覚デザインの方法と展開 (吉田)
- 第 3 回 現代美術の方法と展開 (上遠野)
- 第 4 回 現代美術の方法と展開 (上遠野)
- 第 5 回 企画デザインの方法と展開 (武田)
- 第 6 回 企画デザインの方法と展開 (武田)
- 第 7 回 企画デザインの方法と展開 (武田)
- 第 8 回 ビジュアルスペースの方法と展開 (石田)
- 第 9 回 ビジュアルスペースの方法と展開 (石田)
- 第10回 ビジュアルスペースの方法と展開 (石田)
- 第11回 映像メディアデザインの方法と展開 (未定)
- 第12回 映像メディアデザインの方法と展開 (未定)
- 第13回 映像メディアデザインの方法と展開 (未定)
- 第14回 ネットメディアデザインの方法と展開 (須之内)
- 第15回 メディアデザイン研究の方法と展開 (須之内)

■**教科書**：授業時間に適宜指示します

■**参考文献**：授業時間に適宜指示します

■**成績評価基準と方法**：定期試験レポート(学期末)50%、授業内課題30%、授業態度・発表20%

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験	◎	◎		課題に対しての展開能力と独創性。	50
小テスト・授業内レポート	○	○		各回の課題を理解し、企画力、展開能力をみる。	20
授業態度				積極的な姿勢。	
発表			◎	独創性と再現性	30
課題・作品					
出席				2/3以上の出席	欠格条件
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：創造産業論、デザイン総合実習I、II

■**その他(学生へのメッセージ・履修上の留意点)**：出版、テレビ、音楽、インターネット、映画、ゲーム、ファッション、広告など、多様化するメディアデザイン分野の方法と可能性を学びます。次世代のメディアビジネスに対応する独創的な発想や企画力、プレゼンテーション能力の習得基盤とするため、メディアビジネスの今と未来を、実際のプロジェクト分析を通して学びます。